

能登半島地震支援活動報告

本当に多くの方から支援金とともに温かいメッセージをいただき、改めまして心から感謝御礼を申し上げます。私達に託していただきました皆さんの応援は、被災地区の妊婦さんや乳幼児、子育て家庭、支援センターや保育園、こどもの居場所などに、実際に必要としているニーズを聞きながら、能登地区に出向き、または金沢以南で生活している親子に届けてきました。現在も続いておりますが、発災からほんの一部、活動のご報告をさせていただきます。

1月1日 16時10分ごろ 令和6年能登半島地震発生

お正月で帰省されていた方、ご実家や親せきなど能登にゆかりのある方もおいでだと思います。度重なる余震や携帯電話から流れるアラームに、本当に怖い思いをしましたね。小さい子を連れてどこへ避難すればいいのか、身動きが取れなかったなど被災されたご家族のお話をたくさん聞きました。

11日から金沢市内の妊婦さんの福祉避難所を助産師会と一緒にサポート

車がなかったり、たった1人で避難してきた妊婦さん、上のお子さんも一緒だったり、1人1人違う状況の中、寄り添いながら生活のサポートに入りました。

企業の方々から支援物資が届き始める ※ P.5に詳細を記載しています



能登地区の地図に色別で、支援センターや子ども園、保育所、児童館ほか、子ども関係の場所を確認しました。能登地区に行く際には、こういったネットワークを元に連絡を取り、必要な物資を届けられるようにしました。



支援物資の配布をきっかけとしたつながりづくり
子どもに特化した支援物資の配布を始め、それをきっかけに1人1人のお話を丁寧に聞いています。多様な個別のニーズに沿うために、NPO法人ホームスタートジャパンやNPO法人子育てひろば全国協議会などからの支援金を活用させていただいています。

2024.1

2日

とにかく情報を集める手段として、日頃から関係している仲間とネットワークを作り始め、水や食料、オムツ、ミルクなどの物資の呼びかけの協力を始めました。

4日にはNPO法人ホームスタートジャパン、11日にはNPO法人子育てひろば全国協議会が支援金活動の呼びかけを始められました。お付き合いのある団体や個人の方々からたくさんの応援が届き始め、初動することができました。

13日・被災者支援「のと応援隊」

子ども、子育て家庭の情報を集めたり、共有するために立ち上げました。能登地区の仲間や関係者とも連絡を取り始めました。



24日から ホームビジターさんの手作り スマホケース作業スタート！

「ホームスタートはくさん」のビジターさんたちが、自らも被災しながら頑張っている現地の支援者のみなさんや被災者の方のために、ポケット付きのスマホケースを130個作りました。裁縫が得意な方を中心に、週に1回の作業ではありましたがあっという間に仕上がりました。1つ1つ柄が違うので、物資を見に来られるママたちや被災地にも持っていき選んでもらいました。



いろんな柄ができました！

